

令和4年4月25日

保護者 各位

那覇市立神原中学校
校長 大城 美千代
《公印省略》

「感染者が発生した学級等への情報提供」と「コロナ禍の心構え」について（お願い）

平素より、本校の感染症予防対策をはじめ、学校教育活動へのご理解とご支援に対し、心より感謝申し上げます。

沖縄県の新型コロナウイルス感染者が急激に拡大し、人口10万人あたりの感染者数も全国ワーストが続いています。特に、10代未満や10代の子ども達への感染が急激に拡大しています。

本校においては、4月中旬より1年生と3年生の複数名が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。現在、学校PCR検査が逼迫し1週間以上の予約待ちで、いつ実施できるか見通しが全く立たないという状況であることと、感染リスクの高い場面での接触のあった生徒が少数であることから、那覇市教育委員会と連携の上、学校PCR検査を見送って参りました。

そこで、本校では、保護者の皆様にご家庭での健康観察の徹底と、風邪症状などの新型コロナウイルス感染が疑われる症状がある生徒に対しては、自宅待機と病院受診の上、PCR検査の実施をお願いしております。

また、これまで、感染者が出た場合の対応として、感染した生徒に配慮し、担任が当該生徒から聞き取りをして「2日前に遡って当該生徒と接触のあった生徒」を特定し自宅待機と病院受診の上、PCR検査実施の連絡をしてきました。

しかし、当該生徒が2日前に遡っての記憶が曖昧であるケースや、接触のあった生徒と認められなかった生徒の中からは、接触者に該当するのかがどうかが分からず、不安であるとの声の一部から上がってきています。

本校は、「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン（R4.4/1付け文部科学省通知）」に則り、「感染者が発生した学級等への情報提供」をしています。

【新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン(抜粋)】

学校による保護者等への情報提供として、『個人情報の保護、特に差別や偏見等を防止する観点から、感染者を特定しうる情報まで提供するかについては慎重に判断する必要があります。ただし、感染者と特にリスクの高い行動を共にした者を明らかにするなどのために、保護者等の理解を得た上で、必要最小限の範囲で知らせることは考えられます。』

尚、必要最小限の範囲で情報提供する際には、「いつ・どこで・だれが感染してもおかしくない」という大前提に立ち、「コロナ禍の心構え」を周知徹底した上で、差別や偏見等を防止し、子どもたちが安全・安心して学校生活を送れるように「心のケア」を徹底してまいります。

【コロナ禍の心構え】とは

①自分の身は自分で守る②大切な人に感染させない③感染した人を差別しない

の3つです。この3つの心構えの一つでも欠けてはならないと考え、学校のいたる場所に掲示し、意識付けを図っています。

保護者の皆様には、学校の対応にご理解頂き、子ども達が安全・安心し充実した学校生活が送れるよう、学校と家庭が一体となって、取り組んで頂きますよう宜しくお願い致します。

*校長による学校HPで動画配信による説明を致します。

配信期間は4月25日(月)～5月16日(月)までと致します。
是非、ご覧頂き、この困難を共に乗り越えていきたいと考えます。

